



武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

広報室

(Tel 0798-45-3533)

(E-mail kohos@mukogawa-u.ac.jp)

**未就学児のキッザニア体験を、
幼児教育の専門的アプローチでより豊かな学びへ！
武庫川女子大学とキッザニアが
体験前後に使用するツールを共同制作**

就学前の子どもたちの来場体験を豊かな学びにつなげようと、子どもの職業・社会体験施設「キッザニア」の企画・運営を行う KCJ GROUP 株式会社と、包括連携協定を結ぶ武庫川女子大学が、幼稚園・保育園等向けの活動支援ツール「キッザニア わくわくチャレンジツール」を制作。2026 年 6 月 1 日から運用を開始します。

武庫川女子大学教育学部の岡田朱世講師が監修。キッザニアの「来場前」と「来場後」に保育者が活用しやすいよう、工夫を凝らしました。

制作にあたっては、幼児教育において重要な「保育の 5 領域」（「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」）などを意識しました。

キッザニア来場前から、子どもたちの期待を高めるツールが紙芝居「キッザニアへいこう！」。「キッザニアでは仕事とお客さんの体験ができる」「仕事のときはユニホームを着る」「キッザニアの中で使える特別なお金（キッズ）がある」など、前持って知っていてほしいことを写真やイラストで伝えます。保育者は紙芝居を読み聞かせながら、子どもたちに「どんな体験がしたい？」などと問いかけ、会話をしながら期待を膨らませます。

来場後は「えをかこう！キッザニアのおもいで」として、印象に残っていることを絵に描き、活動を振り返ります。また、お店や消防署など体験した仕事や建物を描き、みんなの絵をつなぎ合わせて「街」を作る創作活動「みんなでつくろう！わたしたちのまち」も提

案しています。

岡田講師は保育所での勤務経験があり、「保育内容・環境」に関する保育実践や保育者の職能成長についての研究視点を活かし、現場の保育者のサポートになり、子ども達の学びが膨らむツールを検討しました。

岡田講師は「園での経験がキッザニアでの体験をより豊かにし、キッザニアでの気づきが再び園での遊びにつながるような、学びの連続性が高まることを願って作りました。子どもの様子や保育の狙いに合わせて柔軟に活用し、保育に生かしていただければ」と話しています。



監修した岡田朱世講師



■「キッザニア わくわくチャレンジツール」概要

名 称： キッザニア わくわくチャレンジツール

対 象： キッザニア東京・甲子園・福岡、いずれかに団体予約のある、幼稚園・保育園等のこども

料 金： 無料 ※団体予約の際に申告

内 容： キッザニア来場前・来場後に活用できる各種データのご提供
※専用リンクより各園でダウンロードして使用

この件に関する取材のお申込み、お問い合わせは
武庫川女子大学広報室

Tel 0798-45-3533

メール kohos@mukogawa-u.ac.jp へ。

本プレスリリースは西宮市政記者クラブ、兵庫県教育委員会記者クラブの各加盟社にお送りしています。